

製品名: インテグリン結合 ILK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00090

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 51 kDa; Observed MW: 51 kDa

抗原情報

遺伝子名	ILK
別名	ILK; ILK1; ILK2; Integrin-linked protein kinase; 59 kDa serine/threonine-protein kinase; ILK-1; ILK-2; p59ILK
遺伝子 ID	3611
SwissProt ID	Q13418
免疫原	ヒトインテグリン結合 ILK の合成ペプチド

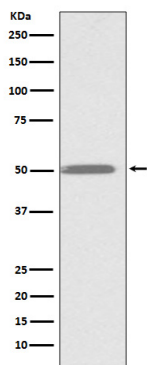
背景

インテグリン結合キナーゼ (ILK) は、インテグリンと成長因子を、細胞生存、細胞周期制御、細胞間接着、そして細胞運動に関与する下流経路に結合させます。ILK は、インテグリン、PINCH (Nck2 を介して ILK を RTK に結合させる)、CH-ILKBP、そしてアフィキシンとの相互作用を通じて、細胞外マトリックス (ECM) と成長因子受容体をアクチン細胞骨格に橋渡しする足場として機能します。

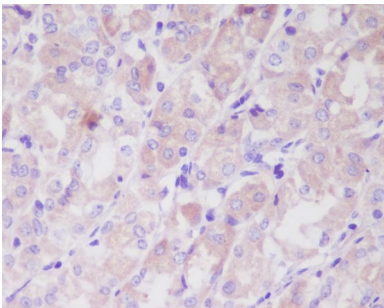
研究分野

シグナル伝達

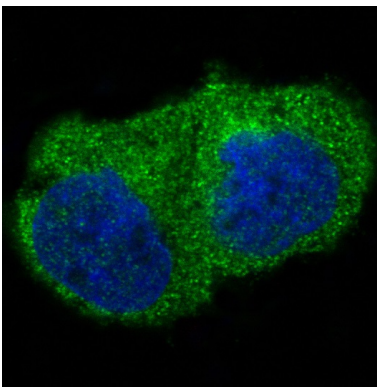
画像データ



Integrin Linked ILK 抗体を使用した K562 溶解物中の ILK のウェスタン ブロット分析。



ILK 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胃の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ILK 抗体を用いた 293 のインテグリン結合 ILK の免疫蛍光分析。